

ちどり

vol.56

MAY 2024



特集1 診療科のご紹介2024 特集2 就任のご挨拶



Contents

■ 院長挨拶 ■ 災害派遣を終えて



病院の基本理念

「患者よし、職員よし、病院よし」

病院の運営方針

- ・ 病む人の人権を尊重し良心的な質の高い医療を提供します
- ・ 安全で心温まる医療を提供します
- ・ 臨床研究を推進し医学・医療の進歩に貢献します
- ・ 教育研修を通して人材育成に努めます
- ・ 新しい医療情報を発信し地域医療の発展に貢献します
- ・ 職員が一体となり健全な病院経営に努めます

令和6年度 新年度のご挨拶

院長 中根 博



地球温暖化の影響で年々桜の開花が早まり、ここ数年は4月の入学式のころには散ってしまっているのが当たり前になっていましたが、今年は3月に入って気温が低かったこともあり、4月1日の辞令交付式は、満開の桜の下、177名の新入職者、転入者をお迎えすることができました。新入職者の湧き立つエネルギーを感じるこのできるこの時期が、わたしは1年の中で最も好きな季節です。

さて、当院は今、機能の拡充を図る時期にきています。内視鏡検査数、透析患者数、手術件数が年々増加してきており、現状の設備ではニーズに応えきれなくなったため、昨年度、まず内視鏡室を1室増やしました。今年度は透析室を6床から12床に、手術室を4室から5室にそれぞれ増やします。また、電子カルテも7年ぶりに更新します。これらハード面での機能強化によって、これまでよりも多くの患者さんが検査や

透析治療、手術を受けることが可能になり、職員は働きやすい環境で診療できるようになるので、当院の理念である「患者よし、職員よし、病院よし」につながることを期待しています。また、7年ぶりに電子カルテを更新します。この7年間の間に、操作性、利便性が大きく向上していると思います。文書管理システム等、新たな機能も付加されていますので、その機能を十二分に活用して、診療に役立てていただきたいと思っています。

今年度の大きな課題は、2024年問題として運送業とともにニュースにも取り上げられている、医師の長時間労働に対する法的規制が始まることです。この制度によって、地域の救急医療の崩壊も懸念される中、当院は可能な限り、現在の診療機能を落とさずに病院運営を継続していく所存です。そのためには、働き方の効率化を進めていく必要があり、複数主治医制、新患受診の予約制、診療時間内での病状説明、逆紹介の推進、等を始めています。医療者の働き方改革を円滑に進めていくには、患者さん、地域の医療機関のご理解とご協力が欠かせません。今後ともご支援、ご助言のほど、よろしくお願いいたします。

診療科のご紹介

Fukuokahigashi Medical Center

2024



1 脳神経内科

メンバー紹介

院長：中根 博
部長：黒田 淳哉
医長：立花 正輝
神経内科医長：田中 恵理
医員：吉川 容司、芝原 友也、山中 圭

当科の特徴・取り扱い疾患

脳血管障害全般（脳梗塞・脳出血・一過性脳虚血発作）、めまい症、頭痛、痙攣発作、認知症、髄膜炎、その他の神経疾患（パーキンソン病、重症筋無力症、ほか）

入院診療実績（2023年度）

脳血管障害関連 213 例（脳梗塞 174 例、脳出血 31 例など）
神経疾患 278 例（てんかん / 痙攣 44 例、パーキンソン病 37 例、めまい 31 例など）
※超急性期血栓溶解療法（t-PA 静注療法）14 例（2023 年実績）

地域の先生方へ

脳神経外科との綿密な協力のもと、脳血管障害をはじめさまざまな神経救急疾患に 24 時間 365 日対応いたします。脳神経疾患が疑われる場合は、遠慮なくご連絡下さい。



2 腎臓内科

メンバー紹介

部長：黒木 裕介
医長：永江 洋
医員：荒瀬 北斗、原 祥子、木船 美菜、羽倉 文史

当科の特徴・取り扱い疾患

蛋白尿、慢性腎臓病、急性腎障害、ネフローゼ症候群、末期腎不全、電解質異常、シャントトラブル、血液浄化療法全般

診療実績（2023年度）

入院件数：297 例、腎生検：29 例、透析導入：40 例（血液透析 33 名、腹膜透析 7 名）、手術件数（シャント手術など）：90 例、シャント PTA：92 例、腎臓病相談外来：62 件（腎臓担当看護師による慢性腎臓病のご説明を行う外来です）

地域の先生方へ

タンパク尿、eGFR 低下などの検診異常から透析療法、急性腎障害、ネフローゼ症候群など重度腎疾患まで軽症・重症問わず対応します。



3 血液内科

メンバー紹介

臨床研究部長：黒岩 三佳
医 長：亀崎 健次郎 医 員：坂本 佳治

当科の特徴・取り扱い疾患

悪性リンパ腫・急性白血病・慢性骨髄性白血病・慢性リンパ性白血病・骨髄異形成症候群多発性骨髄腫・再生不良性貧血・特発性血小板減少性紫斑病など

外来診療実績（2023 年度）

外来のべ患者数：4,557 名

入院診療実績（2023 年度）

入院のべ患者数：8,804 名（血液疾患上位 5 疾患は以下のとおり）①非ホジキンリンパ腫 ②多発性骨髄腫 ③白血病 ④骨髄異形成症候群 ⑤ホジキンリンパ腫 1 日平均入院患者数 24.1 名 平均在院日数 21.8 日

地域の先生方へ

血液内科は今年度も 3 名体制で造血器疾患の診断・鑑別及び治療を行います。患者さんの状況に応じて、九州大学病院・関連施設と連携して対応しています。鉄剤を処方しても貧血が治らない、血小板減少、リンパ節が腫れている等ありましたら、ご紹介ください。



4 糖尿病・内分泌内科

メンバー紹介

部 長：野原 栄
医 長：堤 礼子
医 員：川野 聡子

当科の特徴・取り扱い疾患

2 型糖尿病、1 型糖尿病、肥満症、甲状腺疾患（バセドウ病、橋本病、甲状腺腫瘍）その他の内分泌疾患（副腎、副甲状腺、下垂体）

診療実績（2023 年度）

糖尿病教育入院 100 人

地域の先生方へ

リブレプロにより詳細に血糖パターンを分析し、実行可能な食事療法、患者さんそれぞれに最適な薬物療法を考えます。初回指摘の患者さん、HbA1c 8% 以上で難渋している患者さん、ご遠慮なくご相談ください。



5 感染症内科

メンバー紹介

医 長：肥山 和俊 医 員：岩坂 翔、松尾 将人

当科の特徴・取り扱い疾患

- ・一般感染症
- ・輸入感染症（海外渡航後に発熱、下痢等を呈した患者）
- ・不明熱

診療実績（2023 年度）

呼吸器感染症：107 人（COVID-19：82、肺炎：17、インフルエンザ：6、肺結核：1、肺アスペルギルス症：1）
皮膚感染症：7 人（蜂窩織炎：5、带状疱疹：2）、腎・泌尿器科感染症：30 人（腎盂腎炎：30）
骨・軟部組織感染症：1 人（化膿性脊椎炎：1）、消化器感染症：2 人（胆嚢炎：1、腸炎：1）
その他感染症：21 人（敗血症：15、副鼻腔炎：1、ウイルス性感染症：1、細菌感染症：1、感染性心内膜炎：1、歯肉膿瘍：1、扁桃腺炎：1）、その他疾患：26 人

地域の先生方へ

当科は、さまざまな感染症に対応しています。輸入感染症や流行性ウイルス感染症（麻疹、風疹、ムンプス及び水痘）が疑われる場合は、隔離診察室で診察させて頂いております。

ご紹介の際には、事前に感染症内科医師までご一報頂きますようお願い申し上げます。



6 消化器・肝臓内科

メンバー紹介

部長・医長：大越 恵一郎（膵）、田中 宗浩（胃腸）、多田 靖哉（肝）
松尾 享（膵）、高尾 信一郎（肝）、藤井 宏行（胃腸）
医員：藤山 隆（膵）、黒川 美穂（肝）、安部 周壱（胃腸）
將口 佳久（胃腸）、有吉 明日香（胃腸）、井口 祐希（胃腸）
興津 亮太（胃腸）、武田 一泰（胃腸）

当科の特徴・取り扱い疾患

食道・胃・大腸癌、総胆管結石、胆道癌、膵癌、膵炎、肝臓癌、肝硬変、肝炎、食道静脈瘤、炎症性腸疾患

診療実績（2023年度）

上下部内視鏡検査 4693件、上下部ESD 125件、ERCPなど520件
RFA 34件、TACE 32件、硬化療法など 77件

地域の先生方へ

各種消化管腫瘍の内視鏡治療やERCP、肝臓癌の局所治療などを行っております。



7 循環器内科

メンバー紹介

部長：小池 明広 医長：中村 洋文
医員：入江 圭、細谷 まるか、升井 志保、藤田 泰裕
専修医：佐藤 義裕

当科の特徴・取り扱い疾患

虚血性心疾患（急性心筋梗塞や狭心症）、不整脈、心臓弁膜症、心筋症、心不全、
成人先天性心疾患、肺高血圧症、動脈疾患、血圧異常など

入院診療実績（2023年度）

<手術件数>
冠動脈カテーテルインターベンション：251件（心筋梗塞例49件を含む）
末梢血管カテーテルインターベンション：3件
ペースメーカー新規植え込み術：45件（リードレスペースメーカー10件を含む）
不整脈カテーテルアブレーション：64件（うち心房細動51件）

地域の先生方へ

成人の循環器疾患は疑い例にかかわらず24時間365日、いつでも必ず診療させていただきますので、お気軽にご連絡ください。
心臓外科はありませんが、迅速な評価の上、必要に応じて九大病院をはじめとした近隣施設と連携して適切に対応致します。



8 呼吸器内科

メンバー紹介

副院長：高田 昇平
部長：山下 崇史
医長：中野 貴子
医員：中富 啓太、神宮司 祐治郎、堤 央乃、井上 滋智、國武 陸

当科の特徴・取り扱い疾患

肺癌・胸膜中皮腫はじめ悪性疾患、肺炎・結核など抗酸菌症・真菌症
などの呼吸器感染症、間質性肺疾患はじめとしたびまん性肺疾患、気
管支喘息・慢性閉塞性肺疾患といった閉塞性肺疾患など、呼吸器疾患
全般に専門性を生かした診断、治療を行っております。また患者様に寄り添った呼吸管理、呼吸ケアを実践しております。

入院診療実績（2023年度）

気管支鏡検査実施件数 311件（ベッドサイド施行例は除く）
肺がん内科的治療（化学療法及び放射線療法）導入件数 275件 睡眠時無呼吸精査件数 63件（うちCPAP導入件数は27件）

地域の先生方へ

呼吸器疾患全般に専門性を生かした診断、治療ができる体制を整えご紹介をお待ちしております。



9 外科(消化管、肝胆膵、乳腺、血管外科)

メンバー紹介

部長：内山 秀昭 血管外科部長：松本 拓也
乳腺外科医長：石田 真弓 消化管外科医長：園田 英人
肝胆膵外科医長：井口 友宏 肝胆膵外科医長：長尾 吉泰
医員：小齋 侑希子 専攻医：馬場 崇平

当科の特徴・取り扱い疾患

消化管疾患（食道、胃・十二指腸、小腸・大腸、ヘルニア）
肝胆膵疾患（肝臓、胆嚢、膵臓）、乳腺疾患、血管疾患

手術件数（2023年度）

消化管 359件（食道：6件 胃・十二指腸：67件 小腸・大腸：190件 ヘルニア：96件）
肝胆膵 193件（肝臓：20件 胆嚢・胆管：148件 膵臓：25件）乳腺 28件
血管 177件 その他 77件
全 834件（内 腹腔鏡下手術：401件）

地域の先生方へ

今年度はがん診療の強化を目指します。より完成度の高い手術手技と周術期管理を目指します。



10 整形外科

メンバー紹介

部長：中家 一寿 医長：松下 昌史、岡本 重敏
医員：清水 大樹、柏木 彩乃、倉本 孝文、青木 秀親、古川 勇真

当科の特徴・取り扱い疾患

下記手術を積極的に行って参りますので、よろしくお願ひ致します。

- 中家：肩腱板断裂手術・手根管手術・手の外科
- 松下・柏木：頸椎・胸椎・腰椎の除圧および後方・前方固定術
- 岡本：前十字靭帯再建術などのスポーツ障害・
脛骨高位外反骨切り術などの関節温存手術・人工膝関節置換術
- 清水：人工股関節・外反母趾・足の外科
- 倉本・青木・古川：外傷全般

診療実績（2023年度）

手術件数 約 1,000 件

地域の先生方へ

令和5年度の整形外科の年間新患者数は988名、手術症例数は約1,000例です。整形外科領域では、悪性骨軟部腫瘍を除いて、それぞれ専門性を活かして広範な領域をカバーしています。近隣の先生方のご協力のもと、当センターの整形外科を益々充実させていきたいと存じます。



11 脳神経外科

メンバー紹介

部長：保田 宗紀
医員：古賀 隆之、竹山 龍平

当科の特徴・取り扱い疾患

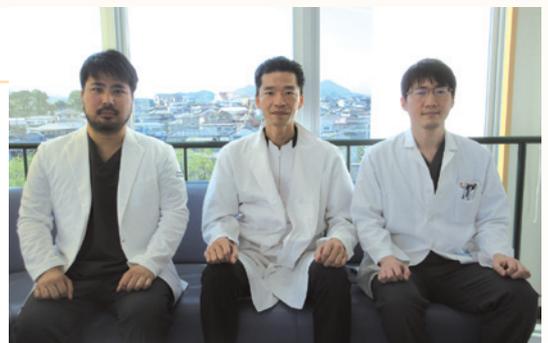
脳腫瘍（原発性・転移性）、脳血管障害（脳出血・脳梗塞）、頭部外傷水頭症、脊椎・脊髄疾患など

手術件数（2023年：105例）

脳腫瘍摘出術（13例）内視鏡下脳内血腫除去（6例）頸動脈内膜剥離術（1例）開頭クリッピング術（2例）
脳動脈瘤コイルリング（14例）急性期血行再建術（12例）頸動脈ステント留置術（2例）腫瘍塞栓術（4例）
AVM摘出術（1例）AVM塞栓術（1例）頭部外傷（37例）

地域の先生方へ

種々の中枢神経疾患に対して脳神経内科と協力しながら24時間体制にて対応しています。超急性期治療に引き続き、必要があれば近隣の回復期病院あるいは療養施設へのスムーズな連携も構築されています。



12 呼吸器外科

メンバー紹介

部長：瀧武 大輔

医師：緑川 健介、西野 菜々子、金田 司朗

当科の特徴・取り扱い疾患

肺・胸膜・気道・縦隔・胸郭・横隔膜まで心臓と食道を除く胸部領域の外科治療を担当しています。年間 300 例の胸部手術と、中でも 100 例を超える肺癌手術は胸腔鏡を用いた低侵襲治療を実践しています。症例によっては 1ヶ所、4cmの小孔のみで行う胸腔鏡下手術（単孔式 VATS）も肺癌肺葉切除などで施行しています。肺癌や胸膜中皮腫、転移性肺腫瘍等の悪性疾患、肺良性腫瘍、炎症性肺疾患（結核や肺化膿症）、気胸、膿胸、縦隔腫瘍、気道疾患まで何でも診ています。他に甲状腺や副甲状腺腫瘍に対する手術も行っています。

地域の先生方へ

「よく診て・よく聞き・やさしく治す」を私たちの信念として親身な医療を心がけ、高度なスキルで最良の治療を提供できるよう努力して参ります。ご連絡いただければ迅速に対応いたしますので、何時でも、何でもご相談下さい！



13 小児科

メンバー紹介

部長：李 守永 医長：増本 夏子、村田 憲治

医師：松尾 光道、黒川 麻里、吉元 陽祐、石倉 稔也

泊 由里子、中原 和恵

専攻医：中野 剛希

当科の特徴・取り扱い疾患

小児の感染症、成長障害、神経疾患・発達障害・てんかん、喘息・アトピー性皮膚炎・食物アレルギー、内分泌疾患、腎臓病、小児循環器、腎臓病、血液疾患など、急性疾患から慢性疾患まで幅広い範囲を扱います。重症心身障害児（者）の短期・長期入所をいずみ病棟で受け入れています。

地域の先生方へ

本年度も『決して断らない診療』そして『相談しやすい地域の小児医療センター』を目指して、小児科一同努力してまいります。小児の2次救急患者は平日～日曜まで診療させていただきますので、ご遠慮なくご連絡ください。土日の夜間及び祝日は小児科医が常勤ではなくオンコール対応となります。入院対応ができません。ご了承とご理解頂きましたら幸いです。専門外来として、神経・発達、アレルギー、呼吸器、腎臓病、内分泌に対応しております。血液、循環器、腎臓病、神経・発達は九州大学よりの専門医が週1回担当します。何卒よろしくお願い申し上げます。



14 歯科口腔外科

メンバー紹介

歯科医師：吉田 将律、田尻 祐大 歯科衛生士：3名

当科の特徴・取り扱い疾患

当科では口腔外科疾患全般の診療や開業医の先生方では困難な有病者の抜歯などの外科処置を行い、一般歯科治療は開業医の先生方に行っていただく、地域支援型の診療を行っています。対応に困っておられる口腔外科疾患や抗凝固薬内服中の患者様など外科処置を行う上で何か不安なことがありましたらご紹介をお願いします（初診日に抜歯を含めた待機的手術は行っておりません）。2021年10月に日本口腔外科学会准研修施設に認定されました。取り扱い疾患は外科処置が必要な歯疾患、嚢胞、良性腫瘍、粘膜疾患、炎症、顎骨壊死、外傷、顎関節疾患です。重症症例や口腔癌症例については九州医療センター歯科口腔外科などへご紹介させていただいております。

診療実績（2023年度）

2023年度の初診外来患者数は1,070名で、入院患者は114名でした。手術は外来局所麻酔下に抜歯や歯根端切除など小手術を行い、入院全身麻酔（38例）下に顎骨嚢胞摘出や、骨吸収抑制薬関連顎骨壊死に対する腐骨除去術などを行いました。

地域の先生方へ

医科の先生方からのご紹介も積極的に受け入れておりますので、口の中のことでお悩みの患者様がおられましたらご紹介をお願い致します。



15 麻酔科

メンバー紹介

部長：白武 孝久

医員：熊野 仁美、野口 理菜、崎原 紫宝、古賀 淳也

当科の特徴・取り扱い疾患

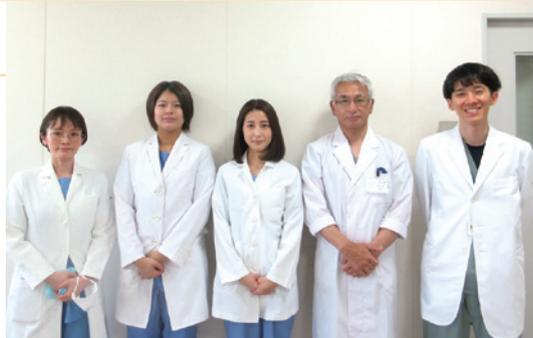
- 硬膜外麻酔や脊髄くも膜下麻酔だけでなく、超音波装置を使用した各種神経ブロックにより術後痛軽減に努めております。
- 必要な症例では脳波モニターなど、最新の機器を使用してより安全な麻酔管理を提供します。
- 患者さんの立場になって麻酔方法等の計画を行い、より安全に快適に手術を受けて頂けるように日々努力をしております。

入院診療実績（2023年度）

2023年度、総手術件数 2,433 例、麻酔科管理症例 1,991 例

地域の先生方へ

当科は常勤5人体制（専門医2名）にて毎日の麻酔管理業務を行っております。年々手術件数が増加する中、安全であり、かつ術後の痛みが少なくなるような麻酔管理を提供していきます。



16 皮膚科

メンバー紹介

医長：中村 美沙

医員：藤井 晴香

当科の特徴・取り扱い疾患

皮膚症状に関する診療全般を行い、外来、入院診療、手術を実施しております。湿疹皮膚炎、乾癬、皮膚感染症、薬疹、水疱症、褥瘡、皮膚良性・悪性腫瘍など

診療実績（2023年度）

入院患者数は 188 名、手術室での手術症例数は 108 件、外来手術症例数は 146 件

地域の先生方へ

皮膚科は2人体制でマンパワーは少ないですが、協力して紹介患者数や手術件数を増やし、地域医療に貢献していきたいと思っております。何卒よろしくお願いたします。



17 救急科

メンバー紹介

救命救急センター長：宇津 秀晃

副センター長：保田 宗紀（併）・李 守永（併）

診療看護師：中光 淳一郎、前川 志帆

医員：副島 靖寛 非常勤医師：吉田 智博（久留米大学救急医学講座より）

当科の特徴・取り扱い疾患

救命救急センター（三次救急）としての重篤患者（心肺停止、多発外傷、心筋梗塞、重症脳卒中、重症呼吸不全など）の受入れのみならず、地域から求められる全ての救急搬送（二次救急）にも対応しています。

2023年救急搬送患者データ

救急搬送件数 4,164 件 うち入院 2,005 件（48.6%）

入院患者の内訳

内科系 1,176 件（脳内 231 件 消化器内 250 件 呼吸器内 309 件 感染症内 105 件 循環器内 181 件 他 100 件）

外科系 502 件（整形外 269 件 脳外 83 件 他 150 件）、小児科 134 件 救急科 213 件

地域の先生方へ

救命救急センターは救急科と全診療科との協力の下に運営され、夜間は当直医5人体制で、地域の皆様への救急医療を提供しております。



18 婦人科

メンバー紹介

部長：内田 聡子 医長：田中 章子、医師：宋 威廷

当科の特徴・取り扱い疾患

不妊症（体外受精、顕微授精、人工授精を含む）、子宮内膜症、子宮筋腫、良性卵巣腫瘍、子宮ポリープ、月経トラブル（月経痛、月経不順、無月経、過多月経、月経前症候群）、思春期発来異常、更年期障害、異所性妊娠、卵巣腫瘍茎捻転など

診療実績（2023年4月～2024年3月）

腹腔鏡手術：39件、子宮鏡手術：25件、開腹手術：14件、腔式手術：2件、他5件
人工授精：60人145周期（妊娠13例、累積妊娠率21.6%）、タイミング法：妊娠20例
体外受精：採卵38周期、新鮮胚移植6周期（妊娠2例）、凍結融解胚移植58周期（妊娠10例）

地域の先生方へ

2023年度から医師3人体制になり、全腹腔鏡下子宮摘出術を開始しました。緊急性の高い異所性妊娠や卵巣腫瘍茎捻転の受け入れもスムーズになりました。外来では医師のみならず培養士、看護師、事務職がチームとなって診療を行っています。仕事や学業との両立、身体への負担軽減を図るべく、外科治療の前に薬物療法を組み合わせたり、鏡視下手術を第一選択として検討したり、工夫に努めています。



19 臨床検査科

メンバー紹介

臨床検査科長：中島 学

当科の特徴・取り扱い疾患

各診療科から提出される検体の生化学・免疫検査、血液検査、細菌検査や、患者さんを直接調べる生理機能検査を行っています。

入院診療実績（2023年度）

生化学・免疫検査：1,665,223件、血液検査：251,250件
細菌検査：46,435件、生理機能検査：39,367件
新型コロナウイルス抗原検査：4,576件

地域の先生方へ

確実な精度の高い検査情報の迅速な提供に努めています。



20 病理診断科

メンバー紹介

医長：阿部 千恵

当科の特徴・取り扱い疾患

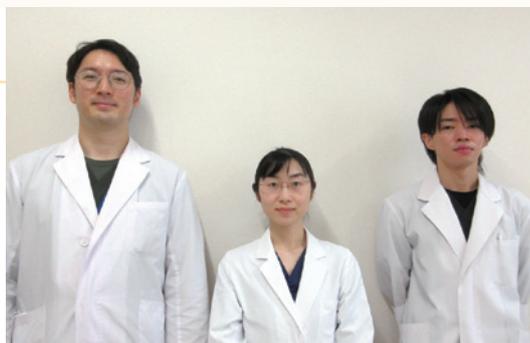
各科より提出される検体の病理組織診断・細胞診断を行っています。

診療実績（2023年度）

病理組織診断 5,003例（術中迅速 142例）、
細胞診断 1,469例（術中迅速 41例）、病理解剖 8例

地域の先生方へ

より良い治療のための一助となる診断を行うべく、病理医と臨床検査技師が力を合わせて励んでおります。



21 放射線科

メンバー紹介

診断：部長：井上 昭宏（放射線科部長） 医師：松浦 由布子
専攻医：古賀 夕貴子 益田 実加
治療：部長：渡辺 哲雄

当科の特徴・取り扱い疾患

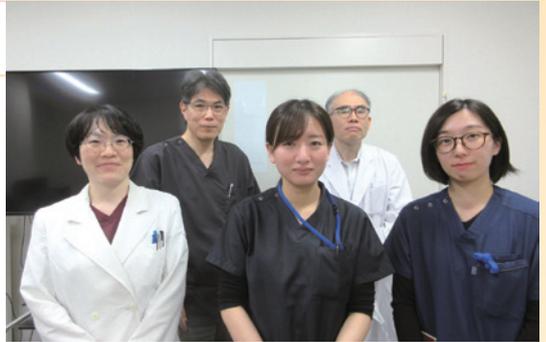
CT：3台（80列1台・64列2台（治療、救命センター）
MRI：2台（1.5T） SPECT：1台
血管造影装置：（パイプライン）1台、（心臓カテーテル装置）1台、その他：一般撮影装置など
リニアック治療装置：1台

診療実績（2023年度）

CT 20,031件、MRI 6,194件、核医学 791件、血管造影（当科）40件、放射線治療新患 176件など

地域の先生方へ

迅速で正確な診断、適切な放射線治療を心がけております。今後ともよろしくお願いたします。



22 心療内科・緩和ケア内科

具体的な対象疾患

不眠、抑うつ症状、不安症状、せん妄、心身症（痛み・消化管症状など）、
身体症状症など

2023年度診療実績

院内コンサルト 235件（外来38件、入院197件）
緩和ケアチーム依頼 81件、緩和ケアチームによる病棟緩和回診43件

地域の先生方へ

通院中・入院中の患者様に、心身両面からの医療を提供します。
当院の患者様が病気や日常生活のストレスにより不眠や身体症状をきたした際の治療を行っています。
また、緩和ケアチームの一員として活動しています。

緩和ケアチームメンバー紹介

身体担当医師：消化器内科 多田 靖哉・呼吸器内科 中富 啓太・外科 園田 英人・呼吸器外科 緑川 健介
精神担当医師：心療内科 横山 寛明・がん緩和専門看護師：百崎 真由美
薬剤師・リハビリ担当療法士・管理栄養士・社会福祉士



23 リハビリテーション科

当科の特徴・取り扱い疾患

- リハビリテーション科医師1名、理学療法士11名、作業療法士7名、言語聴覚士4名、助手2名で、各科の医師や病棟看護師と協力しながら診療に当たっています。
- 脳神経疾患や整形外科疾患のみならず、循環器、呼吸器、がん、小児など幅広くリハビリテーションを実施しております。
- 近隣の回復期リハビリテーション病院、療養型病院、介護施設との連携に努めています。
- 当院から直接ご自宅に退院される患者さんには、退院後の生活を見据えた訓練や介護サービスなどの社会資源の利用についてもサポートし、地域との連携を図っています。

入院診療実績（2023年度）＜PT・OT・ST合算＞

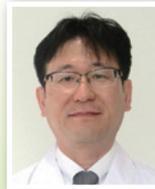
総実施件数：47,445件、総実施単位数：67,245単位、一日平均実施患者数：約200名
脳血管疾患等：21,510単位、廃用症候群：3,757単位、運動器：14,321単位、呼吸器：11,669単位
心大血管疾患：6,450単位、がん患者：5,587単位、障害児（者）：3,951単位

地域の先生方へ

4月から福岡東医療センターリハビリテーション科で勤務しています。以前は北九州市の産業医科大学病院リハビリテーション科で、亜急性期から慢性期脳卒中患者の入院管理や高次脳機能障害を含めた運転再開支援、嚥下外来、ボツリヌス外来に従事してきました。まずは当科の運営を円滑に進め、これまでの経験を活かしながら地域に開かれたリハビリテーション科になるように育んでいきたいと考えています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



就任のご挨拶



外科医長 園田 英人

外科手術を中心に安心の治療を提供することで患者さまがより良い生活の質を実現されるように願って診療にあたります。



脳神経内科医師 吉川 容司

4月に赴任してきました脳神経内科の吉川です。地元が粕屋郡ということでこの病院で働くことをうれしく思います。地域医療に貢献できるように頑張っていきます。よろしくお願いいたします。



外科医長 長尾 吉泰

令和6年4月より当院に赴任して参りました外科の長尾でございます。外科疾患と思われましたら気軽にご相談ください。どうぞよろしくお願いいたします。



感染症内科医師 岩坂 翔

1年ぶりに再度赴任させて頂く、感染症内科の岩坂です。どうぞ宜しくお願い致します。



整形外科医師 倉本 孝文

4月より当院に赴任して参りました整形外科の倉本でございます。骨折等の外傷を中心とした整形外科的疾患にアグレッシブに対応していきたいと思っております。



循環器科医師 藤田 泰裕

三年ぶりに当院に戻って参りました循環器科の藤田と申します。全身を診て、患者様に寄り添う医療を心掛けます。よろしくお願いいたします。



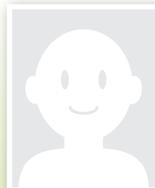
整形外科医師 柏木 彩乃

地域の皆様のお役に立てるように頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



呼吸器内科医師 井上 滋智

4月より当院に赴任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。



脳神経外科医師 古賀 隆之

4月より当院に赴任して参りました脳神経外科の古賀隆之と申します。丁寧な診療で地域に貢献できるように頑張りたいと思っております。よろしくお願いいたします。



呼吸器内科医師 堤 央乃

肺がんを中心に呼吸器全般の診療を行います。患者さんにより良い医療を届けられるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。



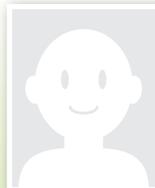
脳神経外科医師 竹山 龍平

2024年4月より赴任した医師8年目の竹山龍平です。脳血管内治療を含めた血管障害を専門としております。古賀市の地域医療に貢献できるように頑張ります。



呼吸器内科医師 神宮司 祐治郎

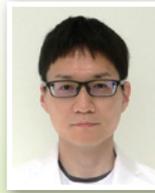
4月より当院に赴任して参りました呼吸器内科の神宮司祐治郎でございます。どうぞよろしくお願いいたします。



小児科医長 村田 憲治

4月から赴任いたしました小児科の村田憲治と申します。こどもたちが元気に過ごせるようお手伝いできればと思っております。よろしくお願いいたします。

就任のご挨拶



リハビリテーション科医師 **森山 利幸**

より良いリハビリテーションを提供できるように尽力していきます。よろしくお願いいたします。



小児科医師 **泊 由里子**

子どもたちとご家族のため、精一杯頑張ります。



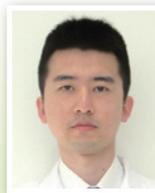
内科専攻医（糖尿） **川野 聡子**

4月より赴任して参りました糖尿病内科の川野です。よろしくお願いいたします。



麻酔科医師 **古賀 淳也**

4月より当院に赴任して参りました麻酔科の古賀と申します。趣味は、サッカー観戦とスキーです。どうぞよろしくお願いいたします。



消化器内科専攻医 **興津 亮太**

消化器内科の興津亮太と申します。地域の皆様に貢献できるように精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。



麻酔科医師 **崎原 紫宝**

4月からお世話になります麻酔科の崎原です。専門は麻酔科です。どうぞよろしくお願いいたします。



消化器内科専攻医 **武田 一泰**

4月より当院に赴任して参りました消化器内科の武田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。



麻酔科医師 **野口 理菜**

4月より当院に赴任して参りました。麻酔科の野口でございます。どうぞよろしくお願いいたします。



循環器内科専攻医 **佐藤 義裕**

今年度より当院に赴任しました循環器内科の佐藤と申します。患者様に信頼していただけるよう精一杯努力してまいります。



麻酔科医師 **熊野 仁美**

4月より当院に赴任して参りました麻酔科の熊野でございます。どうぞよろしくお願いいたします。



腎臓内科専攻医 **羽倉 丈史**

4月より当院に赴任して参りました腎臓内科の羽倉丈史です。どうぞよろしくお願いいたします。



婦人科医師 **宋 威廷**

初めまして。この度、婦人科に赴任いたしました。今まで学んだこと、経験したことを活かして頑張っていきます。どうぞよろしくお願いいたします。



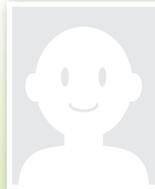
腎臓内科専攻医 **木船 美菜**

4月より当院に赴任して参りました腎臓内科の木船と申します。慣れないことも多くご迷惑おかけするかと存じますが、精一杯努めますので、どうぞよろしくお願いいたします。



呼吸器内科専攻医 國武 陸

精一杯頑張ります。



放射線科専攻医 古賀 夕貴子

4月より当院に赴任して参りました放射線科の古賀と申します。どうぞよろしくお願い致します。



外科専攻医 馬場 崇平

4月より当院に赴任して参りました、外科専攻医の馬場と申します。まだ専門はありませんが、一所懸命、医療に向き合いたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



臨床研修医 千住 成明

初めまして、初期研修医1年目の千住成明と申します。九州大学を卒業し、四月より研修医として働いております。度々ご迷惑もおかけするかと思いますが、何卒よろしくお願い致します。



整形外科専攻医 古川 勇真

古賀市の医療に貢献できるように精一杯尽力させていただきますのでよろしくお願い致します。



臨床研修医 島田 雅己

四月から臨床研修医としてお世話になります、島田雅己と申します。研修医ということで、まだまだ分からないことばかりで至らぬ点多々あるとは思いますが、精一杯頑張ります。よろしくお願い致します。



整形外科専攻医 青木 秀親

よろしくお願い致します。



臨床研修医 飯干 俊之輔

熊本大学から参りました、初期研修1年目の飯干俊之輔と申します。分からないことばかりでご迷惑をお掛けする事も多いと思いますが、精一杯頑張ります。何卒、御指導御鞭撻の程よろしくお願い致します。



呼吸器外科専攻医 金田 司朗

4月より当院に赴任して参りました呼吸器外科の金田です。よろしくお願い致します。



臨床研修医 田原 彩貴

福岡大学から参りました田原彩貴と申します。初めは慣れないことばかりでご迷惑をおかけすることが多々あると存じますが、お役に立てるよう精進して参りたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。



小児科専攻医 中野 剛希

4月より当院に赴任して参りました。小児科の中野でございます。小児科医としては2年目でまだまだ未熟者ですが、精一杯頑張りますのでどうぞよろしくお願い致します。



臨床研修医 甲斐 瞳

初めまして、4月より初期研修医として入職いたしました。甲斐と申します。熊本大学出身で、大学ではバドミントンをしておりました。未熟者ですが、精一杯頑張りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



放射線科専攻医 益田 実加

4月より当院に赴任して参りました放射線科専攻医1年目の益田です。未熟な面も多々あると思いますが、よろしくお願い致します。



臨床研修医 柴垣 実央

4月から2年間、福岡東医療センターで初期研修医としてお世話になります、柴垣実央と申します。皆様に信頼していただける医師になれるよう、精一杯頑張ります。ご指導のほど、どうぞ宜しくお願い致します。



臨床研修医 網野 伶子

初めまして、初期研修医 1 年目の網野伶子と申します。長崎大学を卒業し、九大たすぎで 1 年間御院でお世話になります。まだまだ未熟ではございますが、何事も積極的に参加し、医師としての礎を築けるよう精進して参ります。宜しくお願い致します。



手術・中材看護師長 尾崎 寿行

九州がんセンターより手術・中材室看護師長に着任しました尾崎です。前任地での経験を活かし、努力していきたいと思っています。よろしく申し上げます。



臨床研修医 畑田 祐美

初めまして。4 月からお世話になります畑田祐美と申します。鳥取大学を卒業し、この 4 月から福岡東医療センターで 1 年間研修させていただきます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



ICU 看護師長 大津 美砂

4 月より、福岡病院より赴任して参りました ICU 看護師長の大津美砂と申します。病院の広さと職員の多さに戸惑いましたが、微力ながら、病院、患者さんのために、力を尽くし、頑張っていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願い致します。



臨床研修医 後藤 陸

4 月より 1 年間お世話になります、初期研修医 1 年目の後藤陸と申します。右も左もわからないですが、精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。



看護師長 佐野 さとみ

今回、福岡病院より看護師長として転勤して参りました。3 年ぶりの福岡東医療センターは、病院機能評価を受け、職員 1 人ひとりに誇りと医療提供の質の向上を肌を感じております。どうぞ宜しくお願い致します。



診療放射線技師長 西田 浩如

診療放射線科の西田浩如と申します。この度、4 月 1 日付で宮崎東病院より配置換えになりました。一日も早く福岡東医療センターのお役に立てるよう精進して参ります。ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



看護師長 沖島 美伸

4 月に福岡病院より昇任でまいりました。一つ一つ丁寧に仕事をしていきたいと思っております。不慣れな点が多く、ご迷惑をおかけすると思ひますが、どうぞよろしくお願い致します。



看護部長 井上 光子

都城医療センターから配置換えでまいりました井上と申します。「患者よし、職員よし、病院よし」の理念のもと患者・家族、地域の方々、そして職員一人一人を大切に、地域医療に貢献できるよう取り組んで参ります。どうぞよろしくお願い致します。



企画課長 島田 登志男

4 月から熊本再春医療センターより赴任して参りました島田と申します。早く病院に慣れて、目の前の課題を一つひとつ処理していきたいと思ひます。皆様どうぞよろしくお願い致します。



副看護部長 宝来 佳奈

九州がんセンターより参りました、宝来佳奈と申します。「患者よし、職員よし、病院よし」の基本理念のもと、看護部の理念である「誠実と信頼」の看護を患者さんに提供できるように努めてまいりたいと思ひます。



管理課長 竹藤 美智嘉

4 月より管理課長として赴任しました竹藤と申します。一日も早く皆様のお役に立てるよう精進しますので、どうぞよろしくお願い致します。



令和6年能登半島地震 NHO医療班を派遣

(チーム編成：医師1、看護師2、薬剤師1、事務1、計5名)



災害派遣を終えて 消化器内科医長 高尾 信一郎

今年1月1日に能登半島で最大震度7(M 7.6)の地震が発生し、派遣要請のもと多数の医療者・医療チームが被災地で活動したことはご存知かと思います。当院からもNHO医療班(チーム編成：医師1、看護師2、薬剤師1、事務1、計5名)を派遣することとなり、1月21日から23日の3日間、輪島地区で現地活動を行いました。主な活動内容は、各避難所の現状調査と診療でした。地震発生からすでに3週が経ち、二次避難が始まった頃でしたが、各避難所には被災された方々が依然として多数おられました。寒い時期、水道がストップし衛生環境を保つのが難しい状況での避難所生活であり、呼吸器感染症や胃腸炎の患者さんが増えるのは必然だったのかもしれませんが、そのような患者さんを最終日の出発時間ギリギリまで診療させていただきましたが、被災された方々に感謝



の言葉をいただき、こちらが励まされることもありました。今回私たちは災害医療の一端を担わせていただきましたが、この経験を活かし、当院およびこの地域における災害医療のあり方を考えていきたいと思っています。



災害派遣を終えて 日本DMAT隊員・小児科部長 李 守永

令和6年能登半島地震でDMAT活動の報告をさせていただきます。今回は福岡県DMATとして令和6年1月26日～29日に医師1名、看護師2名、ロジスティクス1名で石川県穴水町保険医療福祉調整本部へ派遣されました。病院のDr Carで北九州からフェリーで大阪へ、その後は陸路で石川県を目指しました。福井県より、北は大雪であり見慣れない雪景色でした。穴水町は震度6強を観測した地域で水道はまだ復旧しておらず、近くなるにつれ、崩壊した家屋や建物が散見され、地震の恐ろしさを垣間見ました。調整本部の活動ポリシーは「組織の垣根を超えて、穴水町の医療関係者を支える活動を!!」で地域の拠点病院である公立穴水総合病院、DMAT(災害派遣医療チーム)、JMAT(日本医師会災害医療チーム)、日赤救護班、日本薬剤師会班、JPAT(災害派遣精神医療チーム)、JDAT(日本災害歯科支援チーム)、DHEAT(災害時健康危機管理支援チーム)など様々な組織が垣根をこえて協力し、支援を行っていました。地震からは3週間を過ぎ、災害のサイクルは亜急性期から慢性期にかかるところで、急性期の活動はなく、避難所支援、地域医療搬送や病院支援など主な活動内容となりました。3日間のDMAT活動でしたが被災地の方々に寄りそって支える活動の大切さを学ばせて頂き、貴重な体験をさせていただきました。今後の当院の災害拠点病院としての活動に活かしていく所存です。



編集後記

1月1日の午後、能登半島で大きな地震が起こったというニュースが飛び込んできました。津波が博多港まで到達する可能性があるとのこと、かなりの大きな地震であったと伺い知ることになりました。多くの家屋の倒壊、ライフラインの寸断等、地震発生から数日経って被害の状況が明らかとなってきました。地震から約5カ月経ちますが、復興には程遠く、手つかずの地域があると聞きます。このような自然災害では被災された地域の方だけでは復興が難しいとされます。支援やボランティアの活動が必要です。当院も1月21日～23日の3日間NHO医療班の派遣を行っています。

- っています。災害派遣に尽力された高尾先生、李先生、看護師の皆様お疲れ様でした。南海トラフ地震、首都直下型地震は近い
- 将来必ず起こると言われています。当該地域の被災を最小限に留めることに尽力することなく、他の地域の被災に対しても迅速
- な支援ができるような体制づくりが必要であると改めて思われました。

(内山記)

外来担当医一覧 令和6年4月1日現在 ※最新の担当医はホームページをご覧ください。https://fukuokae.hosp.go.jp/

受付時間

- 1) 午前8時30分から午前11時00分まで。 ※予約の方は、指定された時間においで下さい。
- 2) 土・日・祝祭日・年末年始は休診です。当院は救急告示病院です。救急の方は、診療時間外でも受付いたします。

診療科	月	火	水	木	金		
内科新患(別紙参照)	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医		
脳神経内科 (新患予約制)	新患	田中 恵理	吉川 容司	山中 圭	田中 恵理	黒田 淳哉	
	再来(脳血管内科)	吉川 容司	中根 博・山中圭	黒田 淳哉	芝原 友也	立花 正輝	
	再来(神経内科)	-	田中 恵理	田中 恵理	九大医師	-	
糖尿病	新患	野原 栄	-	川野 聡子	担当医	堤 礼子	
	再来	堤 礼子・川野聡子	-	野原 栄・堤 礼子	川野 聡子	野原 栄	
血液内科	新患	-	担当医	担当医	-	担当医	
	再来	亀崎 健次郎	亀崎 健次郎	黒岩 三佳	-	黒岩三佳・坂本佳治	
消化器科 (消化管・肝臓)	肝	高尾 信一郎	多田 靖哉	黒川 美穂	多田靖哉・高尾信一郎	-	
	膵胆	藤山 隆	大越 恵一郎	松尾 享	松尾 享	大越 恵一郎	
	消化管	藤井 宏行	將口 佳久	井口祐希・興津亮太	田中 宗浩	安部 周壱	
腎臓内科	新患	原 祥子	黒木 裕介	黒木 裕介	荒瀬 北斗	木船 美菜	
	再来	黒木 裕介	木船 美菜	羽倉 丈史	黒木裕介・永江洋	荒瀬 北斗	
循環器科 (新患予約制)	第一診察室	小池 明広	小池 明広	小池 明広	中村 洋文	中村 洋文	
	第二診察室	細谷 まるか	入江 圭	佐藤 義裕	藤田 泰裕	升井 志保	
呼吸器科	新患	中野 貴子	中富 啓太	高田 昇平	山下 崇史	神宮司祐治郎	
		中富 啓太	高田 昇平	山下 崇史	高田 昇平	山下 崇史	
	再来	堤 央乃	堤 央乃	中野 貴子	井上 滋智	中富 啓太	
		國武 陸	神宮司祐治郎	井上 滋智	神宮司祐治郎	中野 貴子	
感染症外来		肥山 和俊			肥山 和俊		
呼吸器外科	緑川 健介	濱武 大輔	西野 菜々子	金田 司朗	担当医		
外科 (新患予約制)	消化器	内山 秀昭	休診(急患対応可)	井口 友宏	休診(急患対応可)	内山 秀昭	
		園田 英人		長尾 吉泰			
	乳腺	内山 秀昭	休診(急患対応可)	休診(急患対応可)	石田 真弓	休診(急患対応可)	
血管	休診(急患対応可)	松本 拓也	休診(急患対応可)	休診(急患対応可)	休診(急患対応可)		
整形外科 (新患予約制)	新患	中家 一寿	倉本 孝文	(手術日) 外来休診	松下 昌史	(手術日) 外来休診	
		松下 昌史	柏木 綾乃		清水 大樹		
	岡本 重敏	清水 大樹	中家 一寿				
	倉本 孝文	古川 勇真	岡本 重敏				
再来	青木 秀親	古川 勇真	柏木 綾乃				
脳神経外科	新患	保田宗紀・古賀隆之	保田 宗紀	(手術日)	保田 宗紀	竹山 龍平	
	再来	保田宗紀・竹山龍平	保田宗紀・竹山龍平		保田宗紀・竹山龍平	保田 宗紀	
皮膚科 (新患予約制)	新患	中村 美沙	中村 美沙	中村 美沙	中村 美沙	中村 美沙	
	再来	藤井 晴香	藤井 晴香	藤井 晴香	藤井 晴香	藤井 晴香	
小児科	午前	一般	松尾光通・中原和恵	黒川 麻里	松尾光通・中原和恵	村田 憲治	増本夏子・中原和恵
		専門(予約)	増本 夏子	松尾 光通	李 守永	李 守永・黒川麻里	吉元(第1・3・5)石倉(第2・4)
	午後	一般	李 守永	水野勇司・松尾光通	李 守永・中原和恵	増本 夏子	李 守永・中原和恵
		専門(予約)	中原 和恵	血液(江口克秀)	循環器(長友雄作)	李 守永	小児神経(藤井史彦)
石倉稔也(第1・3・5)	アレルギー(第2・4)	腎臓(末松真弥)					
吉元陽祐(第2・4)	吉元(第1・5)石倉(第3)						
放射線科	新患	月～金 渡辺 哲雄(※事前に必ず電話予約が必要です)					
再来	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄		
歯科口腔外科	新患	吉田 将律	吉田 将律	吉田 将律	吉田 将律	(再来のみ)	
	再来	田尻 祐大	田尻 祐大	田尻 祐大	田尻 祐大		
婦人科	新患	内田 聡子	内田 聡子	内田 聡子	(手術日)	内田 聡子	
	再来	田中章子・宋威廷	田中章子・宋威廷	田中章子・宋威廷		田中章子・宋威廷	

- *小児科の入院依頼は、病院代表 092-943-2331 から
入院依頼は入院担当医師(松尾・村田・黒川)へ、受診依頼は一般外来医師へ、
夜間休日は小児科当直へご連絡ください。
- 物忘れ外来《特殊外来》完全予約制(内科外来 内247)【担当医 田中恵】
『金曜日 9:00～10:00』
※予約受付は平日月～金13時～16時の間でTEL予約
- 緩和ケア外来 完全予約制(担当看護師 内8184)【担当医】
『火曜日・木曜日 午前中』

独立行政法人国立病院機構
福岡東医療センター
〒811-3195 福岡県古賀市千鳥1丁目1-1
HP <https://fukuokae.hosp.go.jp/>
TEL 092-943-2331
0120-212-454 (地域医療連携室)
FAX 0120-087-437